はじめにお読みください

このたびは、リーマン・ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。

取扱説明書 保証書付

年少者用補助乗車装置 Group II , III

商品名 ハイバックジュニア

注 意

●本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。 本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。

●車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。

●本装置は、認可された車両がUN/ECE規則No.16または同等の基準で許可された3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。

●本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。

●疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	記載内容を守らないと、生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。
	図示されている内容の禁止を示しています。
	安全のため、かならず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

●この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し(本体背面の収納ポケット)、必要に応じてお読みください。

Highback Junior
ECE R44/04
UNIVERSAL
15-36kg
E1
04301209
LEAMAN

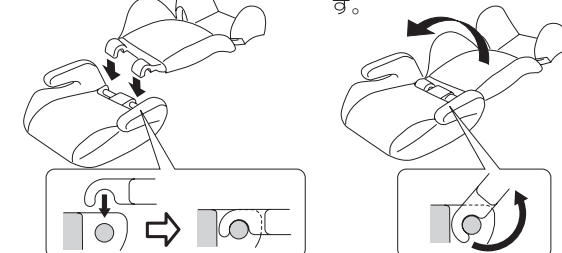
11621-10321-B GK

1. 部品構成

ご使用になる前に、下記の部品が揃っているか確認してください。

本体背と座の組み立て方法

① 図のように、本体座の差込み穴に本体背の下端を合わせます。

② 本体背の下端を差込み穴に差込みながら、（カチッと）音がするまで背もたれを起こします。

③ 本体背を前後に動かし、下端が確実に接続されていることを確かめます。

本体背と本体座がしっかりとはめ込まれていることを確認してください。

本体背と座の取り外し方法

上記「本体背と座の組み立て方法」の逆の手順です。

2. お子さまの適用条件

体重 身長のめやす 年齢のめやす	15kg～25kg以下 98cm～120cmまで 3才頃～6才頃まで	25kg～36kg以下 120cm～138cmまで 6才頃～10才頃まで
取り付け方向	前向き	前向き
使用部品	本体背と本体座	本体座

アドバイス ジュニアシートは前・後部座席に取り付け可能ですが、安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。

3. 必ずお読みください

緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

車両シートベルトのバックルボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを外します。

シートベルトが外れない場合は、シートベルトをハサミなどで切断してお子さまを救出してください。

車両への取り付け

- **ジュニアシートの取り付け向き**
  前向き…○　後向き…×
- **シートベルトの種類**
  3点式シートベルト…○(※1)　2点式シートベルト…×
- **座席の種類**
  助手席…○　後部座席…○(※2)
- **座席の向き**
  前向き…○　後向き…×　横向き…×

(※1)
ジュニアシートは、ECE R16または同等の基準で認可された3点式シートベルトのみでご使用いただけます。
ただし、「パッシブシートベルト」・「腰ベルト側にELRが付いた3点式シートベルト」ではご使用できません。
その他の特殊なシートベルトにつきましては、販売店または弊社「お客様相談室」にご相談ください。

(※2)
前席との距離を可能な限り離してご使用ください。

⚠警告

＊記載内容を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

ジュニアシートは取扱説明書どおりに固定してください。

保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。

車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。

肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないよう調整してください。

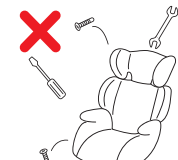
衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。

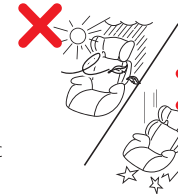
腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。

お子さまが乗っていない場合、ジュニアシートはトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかり固定しておいてください。

お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。

運転中にジュニアシートの操作(ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。

ジュニアシートを助手席に取り付けたとき、ジュニアシートとシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。

ジュニアシートを改造したり、カバー類・ウレタン類などを取り外して使用しないでください。

後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

ジュニアシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。

⚠注意

＊ 記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

お子さまを乗せる際には、ジュニアシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。
また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。
(確認は、停車し、安全な状態で行ってください)

車両シートベルト及びジュニアシートを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。

ジュニアシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取り外しはおやめください。

ジュニアシートは車両以外でのご使用をおやめください。

お子さまがジュニアシートの上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。
また、お子さまの遊び道具にしないでください。

衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。

ジュニアシートを取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。

可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)が挟まれないようにジュニアシートを取り付けてください。

アドバイス 車両シートの材質・形状により、キズや跡がつく場合がありますので、ご注意ください。

4. ご使用方法

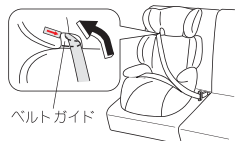
本体背と本体座を合わせてご使用の場合

体重：15kg～25kg以下　身長のめやす:98cm～120cmまで　年齢のめやす:3才頃～6才頃まで

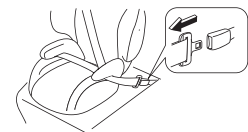
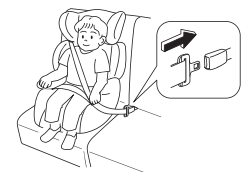
車両への取り付け方

① ジュニアシートを本体背の背面が車両座席の背もたれに密着するように座席に置きます。

⚠注意

車両座席の背もたれの角度は、できるだけ起こしてご使用ください。

② 車両シートベルトをジュニアシートにかけて、バックルに確実にロックします。

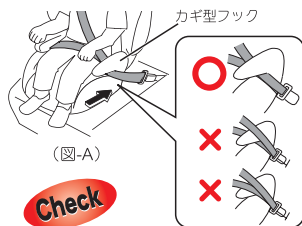
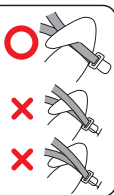
③ 肩ベルトをヘッドレスト下部のベルトガイドに通します。

④ 腰ベルトと肩ベルトを座のカギ型フックに引っ掛けます。

お子さまの座らせ方

① シートベルトのロックを解除します。

② お子さまを着座させ、シートベルトをバックルに確実にロックします。

⚠注意
このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れない様にしてください。

(図-A)

③ 腰ベルトと肩ベルトを、本体座のカギ型フックに引っ掛かるように通します。

⚠警告

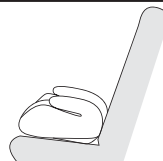
ヘッドレストを上下にスライドさせ、車両シートベルトが、お子さまの首に掛からないように調整してください。

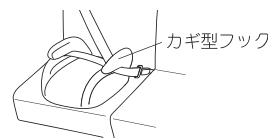
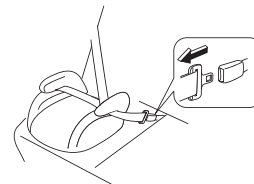
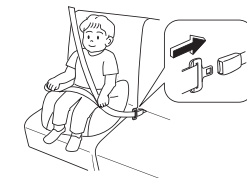
Check

- ジュニアシートの本体背と本体座の後部が、車両座席の背もたれに密着していること。
- お子さまがジュニアシートに深く腰掛けていること。
- 車両シートベルトの肩ベルトがヘッドレスト下部のベルトガイドを通り、お子さまの肩にしっかり掛かっていること。
- 車両シートベルトに緩みやねじれがなく、お子さまに当たっていること。
- シートベルト（腰ベルト・肩ベルト）が、カギ型フックを通っていること。（図-A参照）

本体座のみでご使用の場合

体重：25kg～36kg以下　身長のめやす:120cm～138cmまで　年齢のめやす:6才頃～10才頃まで

車両への取り付け方

① ジュニアシートを車両座席に左記のように乗せ、後部が背もたれに当たる位置にセットしてください。

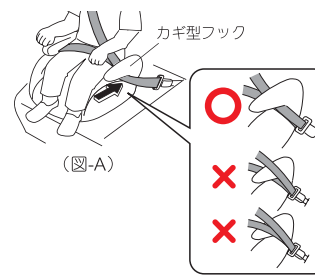
⚠注意
車両座席の背もたれの角度は、できるだけ起こしてご使用ください。

② 腰ベルトと肩ベルトを本体座のカギ型フックに引っ掛けます。

お子さまの座らせ方

① シートベルトのロックを解除します。

② お子さまを着座させ、シートベルトをバックルに確実にロックします。

⚠注意
このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れない様にしてください。

(図-A)

③ 腰ベルトと肩ベルトを、本体座のカギ型フックに引っ掛かるように通します。

⚠警告

車両シートベルトが、お子さまの首に掛からないようにしてください。

Check

- ジュニアシートの本体座の後部が、車両座席の背もたれに密着していること。
- お子さまがジュニアシートに深く腰掛け、背中が車両座席の背もたれと接していること。
- 車両シートベルトの肩ベルトが、お子さまの肩にしっかり掛かっていること。
- 車両シートベルトに緩みやねじれがなく、お子さまに当たっていること。
- シートベルト（腰ベルト・肩ベルト）が、カギ型フックを通っていること。（図-A参照）

5. 取り付けできない座席

⚠警告　車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

シートベルトの付いていない座席

2点式シートベルトの座席

座席の奥行きが43cm以下の座席

- 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻き取り式の座席。
- パッシブシートベルト（前部座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。
- 車両進行方向に対し、後向き及び横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
- 極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けたジュニアシートが安定しません）
- ジュニアシートを取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万一のとき、乗員の安全が確保できません）
- その他、ジュニアシートを固定できない座席。

6. お手入れの仕方

洗濯方法

- ヘッドレストカバー・背カバー・座カバーは、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

日常のお手入れ方法

- 樹脂部は水、またはから拭きしてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

⚠注意　カバー類の洗濯後は、ご使用前に完全に乾燥させてください。

⚠注意
- 本体のお手入れには、変色するおそれがありますので、洗剤類を使用しないでください。
- 本体を水拭きした後は、ご使用前に完全に乾燥させてください。